

令和8年5月26日
定時評議員会議定

報 告 書

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団

新潟市中央区東中通一番町86番地73

目 次

報告 1	支部長の委嘱について	1
報告 2	令和 7 年度公益目的支出計画実施報告について	1
報告 3	令和 7 年度事業報告について	2 ~ 6
報告 4	令和 7 年度会計決算報告及び監査報告について	7 ~ 12
報告 5	理事・監事の辞任及びそれに伴う欠員理事・監事の選任について	13
報告 6	評議員の選任について	13
別表 1	令和 8 年度評議員・支部長氏名一覧	14
別表 2	令和 8 年度顧問・理事・監事名簿	15

報告1 支部長の委嘱について

全支部長が令和8年3月31日をもって任期満了となったので、定款第33条2項の規定に基づき「別表」のとおり理事長が委嘱した。

支部長の任期は、定款第33条第3項の規定により令和10年3月31日までとする。

報告2 令和7年度公益目的支出計画実施報告について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、令和7年度の公益目的支出計画実施報告書を認可行政庁へ提出する。

公益目的支出計画実施報告

教育文化活動実施増減計算書(継続事業)

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
経常収益			
経常収益計	0	0	0
経常費用			
事業費			
教育文化振興費	20,135,000	22,175,000	△ 2,040,000
管理費			
人件費	1,025,459	986,048	39,411
需要費(消耗品費)	9,269	7,853	1,416
租税公課	1,141,291	1,105,258	36,033
営繕管理費	7,838	7,599	239
火災保険料	2,066	2,218	△ 152
警備保障費	10,334	9,133	1,201
光熱水費	15,715	14,879	836
経常費用計	22,346,972	24,307,988	△ 1,961,016
当期経常増減額	△ 22,346,972	△ 24,307,988	1,961,016
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期増減額(経常増減額+経常外増減額)	△ 22,346,972	△ 24,307,988	1,961,016
期首公益目的財産額	1,167,995,329	1,192,303,317	△ 24,307,988
当期公益目的事業支出額	△ 22,346,972	△ 24,307,988	1,961,016
期末公益目的財産額残高	1,145,648,357	1,167,995,329	△ 22,346,972

令和7年度 事業報告書

1.資産状況

(1)総資産 (金額:円)

	3月31日現在	前年同期	増減	前年比
総資産	35,274,804,902	36,924,864,928	△1,650,060,026	95.5

(2)正味財産 (金額:円)

	3月31日現在	前年同期	増減	前年比
正味財産	2,750,263,838	3,507,262,679	△756,998,841	78.4

2.団員数

(1)総数 (人数:人)

	3月31日現在	前年同期	増減	前年比
現職団員	16,240	16,660	△420	97.5
継続団員	5,012	4,939	73	101.5
計	21,252	21,599	△347	98.4

(2)入退団状況 (人数:人)

		令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
入 団	現職団員	557	447	512	548	491
	継続団員	377	133	385	425	386
	計	934	580	897	973	877
退 団	現職団員	977	535	1,033	1,037	970
	継続団員	304	293	270	231	223
	計	1,281	828	1,303	1,268	1,193

3.厚生資金積立金 (金額:円)

	3月31日現在	前年同期	増減	前年比
現職団員	20,878,225,606	21,925,766,859	△1,047,541,253	95.2
継続団員	11,520,089,975	11,354,417,912	165,672,063	101.5
計	32,398,315,581	33,280,184,771	△881,869,190	97.4

1人平均積立金額 現職団員 1,285,605円 97.7%(前年比)
 1人平均積立金額 継続団員 2,298,502円 100.0%(前年比)

4.貸付事業

(1)各種資金貸付残高

(件数:件,金額:円)

	件 数			金 額		
	3月31日現在	前年同期	前年比	3月31日現在	前年同期	前年比
①生活資金	1,890	1,883	100.4	899,940,777	924,463,932	97.3
②自動車資金	1,170	1,106	105.8	1,368,139,369	1,276,010,718	107.2
③結婚資金	83	92	90.2	89,597,199	91,751,016	97.7
④入学資金	316	332	95.2	404,261,429	400,593,056	100.9
⑤学 資 金	393	419	93.8	424,903,748	435,716,065	97.5
⑥災 害 資 金	5	5	100.0	9,805,582	11,157,683	87.9
⑦住宅・宅地資金	162	187	86.6	411,592,555	442,000,988	93.1
計	4,019	4,024	99.9	3,608,240,659	3,581,693,458	100.7

(2)各種資金貸付状況

ア.総括表

(件数:件,金額:円)

	令和7年度貸付	前 年 同 期	増 減	前 年 比
貸 付 件 数	1,027	1,029	△2	99.8
貸 付 金 額	1,273,990,000	1,264,250,000	9,740,000	100.8

イ.生活資金貸付

(件数:件,金額:円)

	令和7年度貸付	前 年 同 期	増 減	前 年 比
貸 付 件 数	581	587	△6	99.0
貸 付 金 額	376,640,000	422,000,000	△45,360,000	89.3

ウ.自動車資金貸付

(件数:件,金額:円)

	令和7年度貸付	前 年 同 期	増 減	前 年 比
貸 付 件 数	287	308	△21	93.2
貸 付 金 額	545,250,000	565,650,000	△20,400,000	96.4

エ.結婚資金貸付

(件数:件,金額:円)

	令和7年度貸付	前 年 同 期	増 減	前 年 比
貸 付 件 数	20	16	4	125.0
貸 付 金 額	31,800,000	28,900,000	2,900,000	110.0

オ.入学資金貸付

(件数:件,金額:円)

	令和7年度貸付	前 年 同 期	増 減	前 年 比
貸 付 件 数	51	45	6	113.3
貸 付 金 額	99,900,000	91,700,000	8,200,000	108.9

カ.学資金貸付

(件数:件,金額:円)

	令和7年度貸付	前年同期	増減	前年比
貸付件数	70	50	20	140.0
貸付金額	127,400,000	86,500,000	40,900,000	147.3

キ.災害資金貸付

(件数:件,金額:円)

	令和7年度貸付	前年同期	増減	前年比
貸付件数	1	2	△1	50.0
貸付金額	3,000,000	5,500,000	△2,500,000	54.5

ク.住宅・宅地資金貸付

(件数:件,金額:円)

	令和7年度貸付	前年同期	増減	前年比
貸付件数	17	21	△4	81.0
貸付金額	90,000,000	64,000,000	26,000,000	140.6

5.厚生費贈与事業

(1)普通厚生費

(金額:円)

	令和7年度	前年同期	増減	前年比
贈与総額	38,480,295	9,852,470	28,627,825	390.6
1人平均贈与額	1,811	456	1,355	397.1

(2)特別厚生費

(件数:件,金額:円)

	件数			金額		
	令和7年度	前年同期	前年比	令和7年度	前年同期	前年比
①弔慰金	58	68	85.3	5,800,000	6,660,000	87.1
②災害見舞金	43	236	18.2	2,025,000	15,635,000	13.0
③病氣見舞金	397	424	93.6	7,930,000	8,450,000	93.8
④香げ料	1,325	1,338	99.0	20,945,000	21,480,000	97.5
⑤結婚祝金	327	321	101.9	15,875,000	15,650,000	101.4
⑥就学祝金	456	527	86.5	9,080,000	10,520,000	86.3
⑦出生祝金	554	580	95.5	11,030,000	11,550,000	95.5
⑧永年団員祝金	1,839	1,564	117.6	46,390,000	27,380,000	169.4
⑨養育費	0	0	—	0	0	—
計	4,999	5,058	98.8	119,075,000	117,325,000	101.5

※出生祝金に出生見舞金 1件 20,000円を含む。

(3)退団慰労金贈与事業

(件数:件,金額:円)

	件数			金額		
	令和7年度	前年同期	前年比	令和7年度	前年同期	前年比
退団慰労金	105	99	106.1	4,550,000	4,170,000	109.1

(4)教職員手帳等贈与事業

(件数:冊)

	令和7年度	前年同期	増減	前年比
教職員手帳	13,900	14,100	△200	98.6
ダイアリー	5,500	5,900	△400	93.2
計	19,400	20,000	△600	97.0

*現職団員は希望により教職員手帳かダイアリーのどちらか、継続団員は教職員手帳を贈与

(5)退職を祝う会

(人数:人)

	令和7年度	前年同期	増減	前年比
招待者	727	320	407	227.2
参加者	146	50	96	292.0
出席率	20.1%	15.6%	—	—

(6)継続団員連絡会

(人数:人)

	令和7年度	前年同期	増減	前年比
招待者	4,408	5,120	△712	86.1
参加者	899	1,018	△119	88.3
出席率	20.4%	19.9%	—	—

※令和7年度は当日の急激な大雨・大水により開催中止した上越地区を含めない。

6.生命保険団体取扱

(1)普通保険(大樹生命)

ア.保有契約状況

(件数:件,金額:円)

	3月31日現在	前年同期	増減	前年比
件数	2,678	2,945	△267	90.9
年間取扱保険料	430,263,218	483,114,810	△52,851,592	89.1

イ.新規契約・消滅状況

(件数:件)

	令和7年度	前年同期	増減	前年比
件数	新規	94	△10	89.4
	消滅	408	△57	86.0

(2)教職員年金制度加入状況

(人数:人,口数:口)

	3月31日現在	前年同期	増減	前年比
加入人数	1,373	1,452	△79	94.6
加入口数	34,565	37,142	△2,577	93.1

7.教育・文化活動実施状況

(助成:件,金額:円)

		3月31日現在	前年同期	増減	前年比
事業助成	支部単位助成事業	5	7	△2	71.4
	金 額	440,000	570,000	△130,000	77.2
	伝統文化・芸術の継承・ サークル活動等	70	71	△1	98.6
	金 額	3,410,000	3,500,000	△90,000	97.4
	全県規模の研究指定校・ 研究物発行団体等	1	2	△1	50.0
	金 額	70,000	140,000	△70,000	50.0
	特別事業助成	13	18	△5	72.2
	金 額	4,845,000	6,890,000	△2,045,000	70.3
	団 体 助 成	34	33	1	103.0
	金 額	10,370,000	10,075,000	295,000	102.9
	深めよう絆にいがた県民会議	1	1	0	100.0
	金 額	1,000,000	1,000,000	0	100.0
	総 件 数	124	132	△8	93.9
	総 額	20,135,000	22,175,000	△2,040,000	90.8

8.退職準備金借入銀行あっせん

(件数:件,金額:円)

	件 数			金 額		
	令和7年度	前年同期	前年比	令和7年度	前年同期	前年比
第四北越銀行	1	0	—	7,000,000	0	—
大光銀行	0	0	—	0	0	—
計	1	0	—	7,000,000	0	—

9.総合健診(人間ドック)等受診料補助状況

(件数:件,金額:円)

		件 数			金 額		
		令和7年度	前年同期	前年比	令和7年度	前年同期	前年比
現職	総合健診	91	130	70.0	1,375,000	1,950,000	70.5
	オプション検診	1,119	1,113	100.5	2,605,000	2,573,500	101.2
継続	総合健診	1,133	1,188	95.4	17,055,000	17,870,000	95.4
	オプション検診	923	907	101.8	2,109,000	2,186,500	96.5

報告4 令和7年度会計決算報告及び監査報告について

貸借対照表

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	1,283,123	1,333,939	▲ 50,816
郵便振替	218,132,266	201,626,477	16,505,789
普通預金	1,294,061,155	1,437,427,297	▲ 143,366,142
定期預金(1)	60,000,000	60,000,000	0
有価証券(1)	200,000,000	300,000,000	▲ 100,000,000
前払金	34,000	89,270	▲ 55,270
未収保険料	43,569	47,236	▲ 3,667
未収手数料	1,361,878	1,502,151	▲ 140,273
未収利息	111,354,895	110,264,224	1,090,671
未収金	663,794	9,960,927	▲ 9,297,133
流動資産合計	1,886,934,680	2,122,251,521	▲ 235,316,841
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券(2)	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	73,153,000	77,038,000	▲ 3,885,000
特定資産合計	73,153,000	77,038,000	▲ 3,885,000
(3) その他固定資産			
建物	248,434,155	248,434,155	0
建物減価償却累計額	▲ 77,232,255	▲ 69,310,998	▲ 7,921,257
構築物	25,951,725	25,951,725	0
構築物減価償却累計額	▲ 16,952,968	▲ 15,214,202	▲ 1,738,766
什器備品	10,661,125	10,661,125	0
什器備品減価償却累計額	▲ 8,587,140	▲ 7,931,796	▲ 655,344
リース資産	7,043,760	7,043,760	0
リース資産減価償却累計額	▲ 7,043,760	▲ 7,043,760	0
土地	163,258,520	163,258,520	0
生活資金貸付金	899,940,777	924,463,932	▲ 24,523,155
住宅・宅地資金貸付金	411,592,555	442,000,988	▲ 30,408,433
学資金貸付金	424,903,748	435,716,065	▲ 10,812,317
入学資金貸付金	404,261,429	400,593,056	3,668,373
災害資金貸付金	9,805,582	11,157,683	▲ 1,352,101
自動車資金貸付金	1,368,139,369	1,276,010,718	92,128,651
結婚資金貸付金	89,597,199	91,751,016	▲ 2,153,817
ソフトウェア	1,618,760	2,116,840	▲ 498,080
有価証券(3)	29,309,324,641	30,735,916,580	▲ 1,426,591,939
その他固定資産合計	33,264,717,222	34,675,575,407	▲ 1,410,858,185
固定資産合計	33,387,870,222	34,802,613,407	▲ 1,414,743,185
資産合計	35,274,804,902	36,924,864,928	▲ 1,650,060,026
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,121,502	4,966,967	▲ 1,845,465
未払法人税等	70,000	618,100	▲ 548,100
未払消費税等	373,600	420,300	▲ 46,700
預り金	87,993	97,665	▲ 9,672
個人年金保険料預り金	11,753,000	12,563,000	▲ 810,000
月払保険料預り金	34,146,012	37,905,819	▲ 3,759,807
期末勤勉手当引当金	3,520,376	3,807,627	▲ 287,251
流動負債合計	53,072,483	60,379,478	▲ 7,306,995
2. 固定負債			
現職団員積立金	20,878,225,606	21,925,766,859	▲ 1,047,541,253
継続団員積立金	11,520,089,975	11,354,417,912	165,672,063
退職給付引当金	62,736,000	63,025,000	▲ 289,000
役員退職慰労引当金	10,417,000	14,013,000	▲ 3,596,000
固定負債合計	32,471,468,581	33,357,222,771	▲ 885,754,190
負債合計	32,524,541,064	33,417,602,249	▲ 893,061,185
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(73,153,000)	(77,038,000)	(▲ 3,885,000)
正味財産合計	2,750,263,838	3,507,262,679	▲ 756,998,841
負債及び正味財産合計	35,274,804,902	36,924,864,928	▲ 1,650,060,026

正味財産増減計算書

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	550,000	550,000	0
債券利子	550,000	550,000	0
特定資産運用益	140,538	37,898	102,640
特定資産受取利息	140,538	37,898	102,640
資金運用収益	651,014,706	636,912,472	14,102,234
預金利子	2,207,512	624,322	1,583,190
債券利子	648,807,194	636,288,150	12,519,044
事業収益	59,938,584	51,025,852	8,912,732
貸付金利子	41,579,393	30,739,886	10,839,507
保険料取扱手数料	18,359,191	20,285,966	▲ 1,926,775
雑収益	9,976	11,065	▲ 1,089
雑収益	9,976	11,065	▲ 1,089
経常収益計	711,653,804	688,537,287	23,116,517
(2) 経常費用			
事業費	235,937,038	208,387,949	27,549,089
普通厚生費	38,480,295	9,852,470	28,627,825
特別厚生費	119,075,000	117,325,000	1,750,000
教育文化振興費	20,135,000	22,175,000	▲ 2,040,000
事業振興費	10,338,900	9,251,000	1,087,900
支部運営費	320,000	320,000	0
諸費	43,037,843	45,294,479	▲ 2,256,636
退団慰労金	4,550,000	4,170,000	380,000
管理費	239,472,607	230,052,532	9,420,075
会議費	1,733,163	1,625,680	107,483
人件費	86,899,227	83,239,309	3,659,918
出張旅費	1,222,516	994,466	228,050
需要費	24,061,254	22,018,206	2,043,048
電算委託費	5,809,513	5,812,127	▲ 2,614
調査研究費	1,138,544	1,171,038	▲ 32,494
租税公課	103,753,784	100,478,049	3,275,735
営繕管理費	712,580	690,900	21,680
火災保険料	187,830	201,640	▲ 13,810
警備保障費	939,510	830,280	109,230
光熱水費	1,428,698	1,352,667	76,031
減価償却費	10,813,447	10,957,647	▲ 144,200
雑費	772,541	680,523	92,018
経常費用計	475,409,645	438,440,481	36,969,164
評価損益等調整前当期経常増減額	236,244,159	250,096,806	▲ 13,852,647
投資有価証券評価損益等	▲ 993,173,000	▲ 392,920,000	▲ 600,253,000
評価損益等計	▲ 993,173,000	▲ 392,920,000	▲ 600,253,000
当期経常増減額	▲ 756,928,841	▲ 142,823,194	▲ 614,105,647
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 756,928,841	▲ 142,823,194	▲ 614,105,647
法人税、住民税及び事業税	70,000	618,100	▲ 548,100
当期一般正味財産増減額	▲ 756,998,841	▲ 143,441,294	▲ 613,557,547
一般正味財産期首残高	3,507,262,679	3,650,703,973	▲ 143,441,294
一般正味財産期末残高	2,750,263,838	3,507,262,679	▲ 756,998,841
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,750,263,838	3,507,262,679	▲ 756,998,841

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 公益法人会計基準

公益法人会計基準(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正、内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価法

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)を、その他の有価証券は期末日の市場価格等に基づく時価法による。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ① 建物及び構築物は定額法、什器備品は定率法による。
- ② ソフトウェアは定額法による。
- ③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

(4) 引当金の計上基準

- ① 期末勤労手当引当金
期末勤労手当支給見込額の当年度負担額を計上している。
- ② 退職給付引当金
職員に対する期末退職給与の自己都合に相当する支給額を計上している。
- ③ 役員退職慰労引当金
役員への退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券(2)	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	77,038,000	8,428,000	12,313,000	73,153,000
小計	77,038,000	8,428,000	12,313,000	73,153,000
合計	127,038,000	8,428,000	12,313,000	123,153,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券(2)	50,000,000	0	(50,000,000)	0
小計	50,000,000	0	(50,000,000)	0
特定資産				
退職給付引当資産	73,153,000	0	0	(73,153,000)
小計	73,153,000	0	0	(73,153,000)
合計	123,153,000	0	(50,000,000)	(73,153,000)

4. 満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

有価証券(2)			
種類	帳簿価額	時価	評価損益
国債	50,000,000	37,425,000	▲12,575,000

有価証券(3)			
種類	帳簿価額	時価	評価損益
国債	3,953,094,956	3,869,227,600	▲83,867,356
地方債	1,446,244,853	1,403,802,085	▲42,442,768
財投債	3,304,596,815	3,054,349,400	▲250,247,415
事業債	5,649,364,227	5,339,450,400	▲309,913,827
ユーロ円債	14,956,023,790	13,508,720,000	▲1,447,303,790
計	29,309,324,641	27,175,549,485	▲2,133,775,156

(注)時価が帳簿価額に比べて30%以上下落しているものについては、時価まで減損処理を行っている。

5. その他

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

- ① 資産運用規程に基づく取引
金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。
- ② 信用リスクの管理
債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。
- ③ 市場リスクの管理
株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。
投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	有価証券(2)	50,000,000	0	0	50,000,000
	基本財産計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産	退職給付引当資産	77,038,000	8,428,000	12,313,000	73,153,000
	特定資産計	77,038,000	8,428,000	12,313,000	73,153,000

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
期末勤労手当引当金	3,807,627	3,520,376	3,807,627	0	3,520,376
退職給付引当金	63,025,000	4,490,000	4,779,000	0	62,736,000
役員退職慰労引当金	14,013,000	3,938,000	7,534,000	0	10,417,000

監査報告書

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団
理事長 堀井 重人 殿

令和8年5月1日
一般財団法人 新潟県教職員厚生財団

監事

原田 一 

監事

森田 雅弘 

監事

西脇 直美 

監事

井部 崇一郎 

私たちは、一般財団法人新潟県教職員厚生財団の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの、事業年度の監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事及び使用人等と意思疎通を図り、事業の報告を受けるとともに、重要な決裁書類等を閲覧し、当財団の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

さらに、会計帳簿及び関係書類の調査など、必要と思われる当該事業年度の計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細並びに公益目的支出計画実施報告書を閲覧し、その妥当性を検討いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書の内容は真実であると認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。
- (3) 計算書類及びその附属明細書は、当事業年度の財産及び損益のすべての重要な点において適正に表示していると認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令又は定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。

以上

独立監査人の監査報告書

令和8年5月22日

一般財団法人新潟県教職員厚生財団
理事長 堀井重人 殿

EY新日本有限責任監査法人

新潟事務所

指定有限責任社員 公認会計士 塚田一誠
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条において準用する同法第124条第2項第1号の規定に基づき、一般財団法人新潟県教職員厚生財団の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドライン第8章第1節第3の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

報告5 理事・監事の辞任及びそれに伴う欠員理事・監事の選任について

理事・監事の辞任に伴い、定款第18条の規定により、令和8年度定時評議員会において理事・監事を「別表2」のとおり選任した。

選任する理事及び監事の人数

・理事 8名

報告6 評議員の選任について

定款第15条の規定により全評議員が任期満了となるので、定款第14条の規定により令和8年度定時評議員会において「別表1」のとおり評議員を選任した。

別表1

令和8年度 評議員・支部長氏名一覧

No.	支 部	評議員氏名	学 校 名	備 考	支 部 長 氏 名	学 校 名	備 考
1	新潟北区	中村 雅芳	早通南小学校	新任	平田 伸一	松浜小学校	新任
2	新潟東区	本間 直樹	竹尾小学校		長沼 智之	東山の下小学校	
3	新潟中央区	鈴木 一弥	浜浦小学校	新任	古井丸 裕三	万代長嶺小学校	新任
4	新潟江南区	坂内 徹	亀田東小学校	新任	中村 香	曾野木小学校	新任
5	新潟秋葉区	飯田 厚	荻川小学校	新任	中川 日里	新津第二小学校	新任
6	新潟南区	木村 杏子	根岸小学校	新任	後藤 孝	大通小学校	新任
7	新潟西区	板垣 英樹	真砂小学校		江口 陽子	青山小学校	
8	新潟西蒲区	長谷川 靖	潟東小学校	新任	山口 潤	巻南小学校	新任
9	新潟市中学校	大橋 正治	黒埼中学校		清水 美穂	鳥屋野中学校	新任
10	長岡・三島	佐藤 隆雄	中島小学校		網 信行	旭岡中学校	
11	上 越 市	石黒 和仁	高志小学校	新任	小池 修	春日中学校	新任
12	三 条 市	糺谷 正夫	裏館小学校	新任	今井 洋子	栄中学校	
13	柏崎・刈羽	會田 範夫	刈羽小学校		宮崎 隆史	西山中学校	
14	新 発 田 市	藤原 靖也	七葉中学校	新任	角 直浩	外ヶ輪小学校	
15	小 千 谷 市	小山 史	東小千谷小学校	新任	山崎 勝之	小千谷小学校	
16	加 茂 ・ 南 蒲	小野 浩	田上中学校		高橋 道子	加茂小学校	新任
17	十日町・中魚	南雲 恵子	南中学校		大島 一英	十日町小学校	
18	見 附 市	松本 浩嗣	西中学校		土佐 和久	見附小学校	新任
19	村上・岩船	白澤 道夫	保内小学校	新任	高橋 秀明	岩船中学校	
20	燕 ・ 西 蒲	丸山 俊	分水中学校		大森 亨	吉田小学校	
21	糸 魚 川 市	木嶋 正和	能生中学校		大瀬 孝志	能生小学校	
22	妙 高 市	杉田 和宏	新井北小学校	新任	青木 弘明	新井小学校	新任
23	五 泉 市	水藻 正美	愛宕小学校		小野 裕子	村松小学校	
24	阿賀野・北蒲	藤原 明	聖籠中学校	新任	樋口 憲哉	水原小学校	
25	佐 渡 市	福井 晴人	金井中学校	新任	森 和人	金井小学校	
26	胎 内 市	山沢 正仁	胎内小学校		松原 利弘	中条小学校	
27	魚 沼 市	葦澤 毅夫	小出小学校		藤田 剛	堀之内小学校	
28	南 魚 沼	上村 一彦	城内小学校		小宮山 仁	六日町中学校	
29	東 蒲 原 郡	渡邊 直樹	阿賀津川中学校	新任	齋藤 大祐	上川小学校	
30	高等 学 校	増川 義行	高田北城高等学校		田中 謙一	新潟中央高等学校	
31	高等 学 校	外山 徹宏	三条高等学校	新任			
32	高等 学 校	須戸 修	新潟商業高等学校	新任			
33	特別支援学校	小林 秀樹	吉川高等特別支援学校	新任	生方 清司	長岡市立高等総合支援学校	
34	大 学				村上 拓彦	新潟大学農学部	新任
35	新 事 研	熊倉 雅明	裏館小学校	新任			

別 表 2

令和8年度 顧問・理事・監事名簿

No.	役 職	氏 名		所 属 等
1	顧 問	坂 井 育 男		新潟県教職員厚生財団元理事長
2		猪 股 博 英		新潟県教職員厚生財団前理事長
3		平 山 誠		新潟県学校生活協同組合長
1	理事長	堀 井 重 人		新潟県教職員厚生財団
2	副理事長	小 田 島 豊	新任	新潟県教職員組合執行委員長
3	専務理事	関 矢 洋		新潟県教職員厚生財団
4	常務理事	淡 路 弘 幸		新潟県教職員厚生財団
5	理 事	市 野 正 廣		新潟県立新潟高等学校長
6		石 黒 浩 司		新潟県立新発田高等学校長
7		根 谷 聡	新任	新潟県立江南高等特別支援学校長
8		清 水 美 穂	新任	新潟市立烏屋野中学校長
9		荻 野 真 美	新任	新潟市立小針小学校長
10		土 田 利 康		新発田市立御免町小学校長
11		今 井 涉		長岡市立阪之上小学校長
12		大 島 一 英	新任	十日町市立十日町小学校長
13		小 畑 活	新任	長岡市立表町小学校長
14		藤 本 高 雄	新任	上越市立大手町小学校長
15		小 林 秀 智		上越市立大町小学校長
16		吉 澤 環		新潟県学校生活協同組合専務理事
17		澁 谷 一 男		新潟県学校生活協同組合常務理事
18		中 村 昭 宏	新任	新潟県教職員組合書記長
1	監 事	原 田 一		長岡市立東北中学校長
2		森 田 雅 弘		小千谷市立小千谷中学校長
3		西 脇 直 美		新潟県教職員組合副執行委員長
4		井 部 栄二郎		大樹生命保険株式会社新潟支社長